

2027年6月期
第1四半期　決算説明資料

SUSMED
Sustainable Medicine

2026年11月

© SUSMED, Inc All rights reserved.

ビジョン

ICTの活用で「持続可能な医療」を目指す

SUStainable MEDicine

© SUSMED, Inc All rights reserved.

事業領域概要

SUSMED
Sustainable Medicine

■自社内で構築してきたデジタル医療プラットフォームを活用した「治療用アプリ開発」「臨床試験支援」を軸に、新たな領域への展開を計画

《治療用アプリ開発：単独／共同》

アプリ開発 → 臨床試験（探索的・検証的） → 承認申請 → 市販後・RWD

デジタル医療プラットフォーム

① QDTx®
（治療用アプリ開発プラットフォーム）



② SUSMED SourceDataSync®
（臨床試験システム）

試験データ入力・管理システム



医療機関



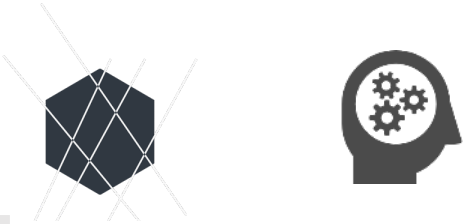
製薬企業・CRO*

* CRO：医薬品開発業務受託機関

ブロックチェーン



③ Awesome Intelligence®
（医療ビッグデータ分析）



《臨床試験支援：DTx／医薬品》

《新たな事業領域》

例）レジストリ

© SUSMED, Inc All rights reserved.

「サスメド 不眠障害用アプリ Medcle」

SUSMED
Sustainable Medicine

■患者のスマートフォンで不眠障害に対する認知行動療法を治療原理とするコンテンツを実施できる日本初の不眠障害用アプリ
■チャット形式でのプログラムによる介入を採用し、医療従事者との面談に近い不眠障害治療の実践が期待できる

睡眠衛生指導 睡眠表	認知行動療法を治療原理としたコンテンツで治療
1週間	8週間

朝の振り返り

- 睡眠時間入力
（就寝、入眠、覚醒、
起床時間、中途覚醒回数）
- 仮眠時間入力
- 睡眠衛生指導
- 刺激制御療法

夕の振り返り

- 睡眠時間制限療法※1
- 刺激制御療法
- 認知療法※2
- 眠気検査
- 不眠尺度評価※3

※1 就寝から起床までの時間を調整する
※2 心配事や考え事を可視化する
※3 不眠の度合いをAISによって測定する

保険償還価格

24,100円／処方

下記の対象患者に対して保険算定
別途技術料（プログラム医療機器等指導管理料）も算定

対象患者※4

- 入院中でないこと
- 薬物療法に適しない又は同意しない患者で、不眠症状が軽症から中等症であること

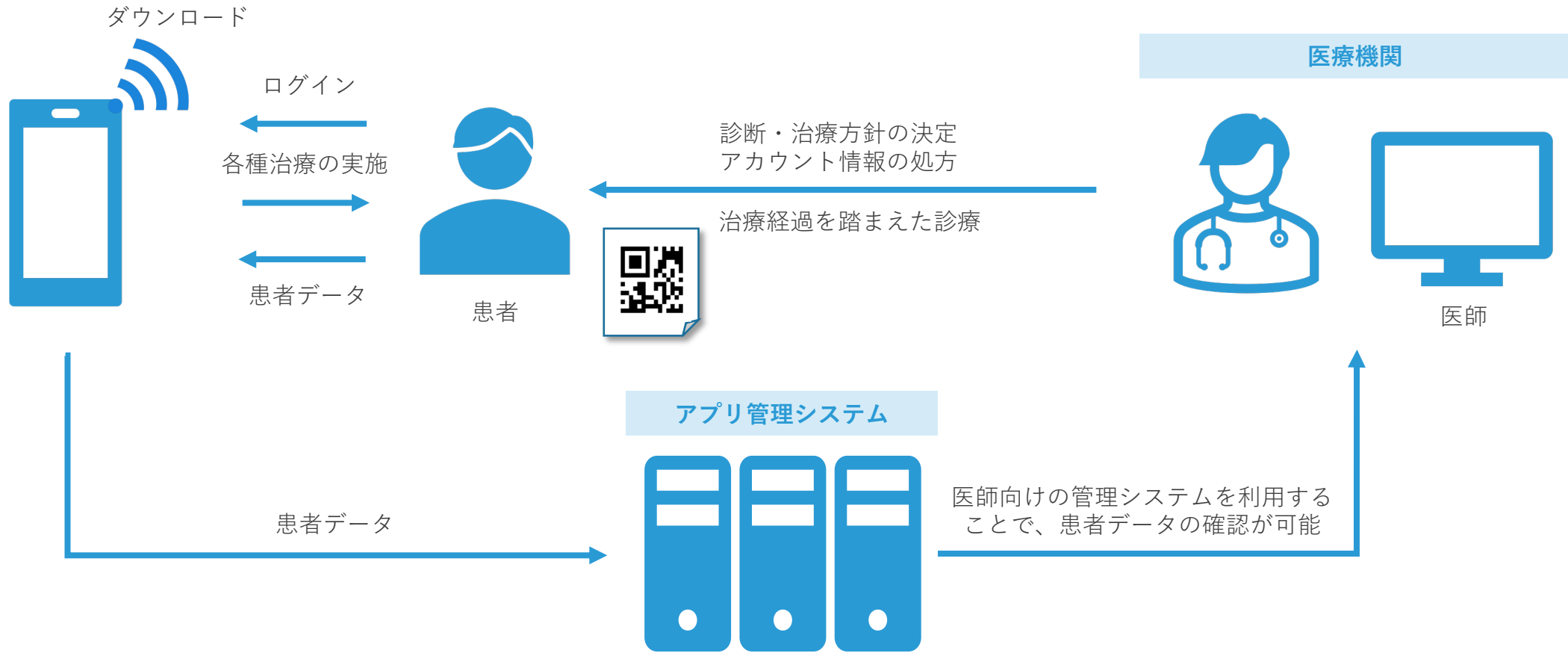
※4 睡眠障害治療薬を服用、精神疾患に罹患、交代勤務・夜勤に従事、
医師が不適当と判断した患者は対象外

© SUSMED, Inc All rights reserved.

治療用アプリの提供の流れ

SUSMED
Sustainable Medicine

■治療用アプリは、医師の診断・処方に基づき、患者のスマートフォンにダウンロードされる
■医療機関で処方されるアカウント情報を使用してアプリにログイン
（Google PlayやApp Storeからダウンロードは可能だが、アカウント情報がないとログインできない）
■ログイン後に実際の治療行為をアプリ単独で実施（医師の介在は不要）
■患者が入力したデータは医師向けの管理システムと連携し、医師はPC等で患者のデータを確認可能



© SUSMED, Inc All rights reserved.

開発パイプライン①（2026年11月6日現在）

SUSMED
Sustainable Medicine

■治療用アプリ開発のプラットフォームを活用し、複数のパイプラインを組成
■「サスメド 不眠障害用アプリ Medcle」は、2026年6月より保険収載され販売を開始
■アルゴリズム構築と治療用アプリの普及で重要となるアカデミアのKOLとの関係性構築で多数の実績

	対象疾患	研究・アプリ開発	探索的試験	検証的試験	現状
治療	SMD401 （乳がん運動療法）				次試験に向けて準備中
	SMD402 （ACP* *: Advance Care Planning ）				企業治験進行中
	SMD201 （慢性腎臓病）				次試験に向けて準備中
	SMD102 （遷延性悲嘆障害）				アプリ開発中 論文公開
	SMD202 （オピオイド誘発性便秘症）				探索的試験の開始に向けて アプリ開発中
	SMD403 （耳鳴）				検証的試験進行中

© SUSMED, Inc All rights reserved.

開発パイプライン② （2026年11月6日現在）

SUSMED
Sustainable Medicine

■治療用アプリ開発のプラットフォームを活用し、複数のパイプラインを組成
■「サスメド 不眠障害用アプリ Medcle」は、2026年6月より保険収載され販売を開始
■アルゴリズム構築と治療用アプリの普及で重要となるアカデミアのKOLとの関係性構築で多数の実績

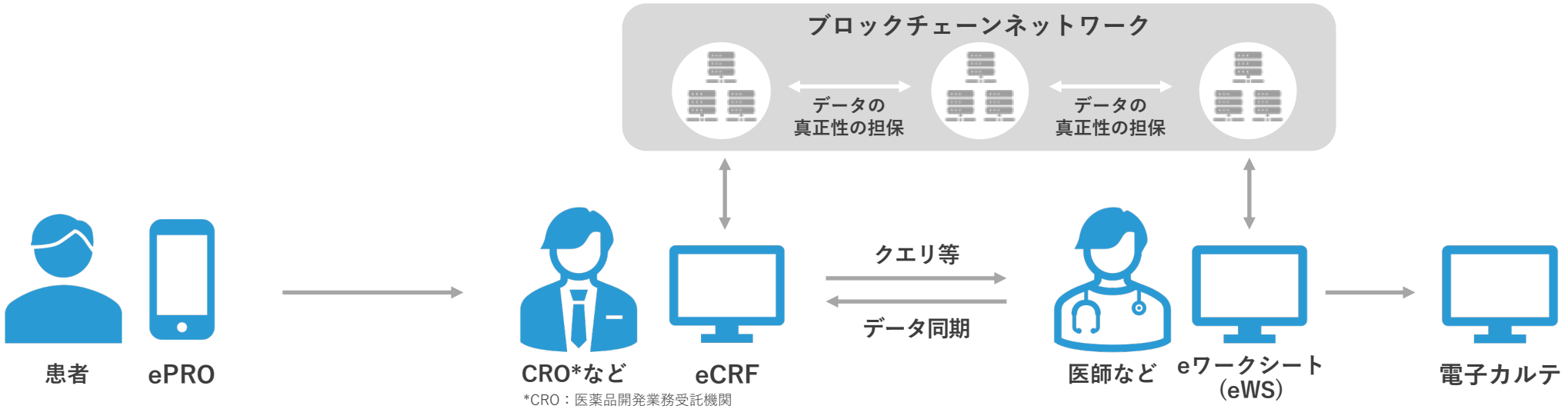
	対象疾患	研究・アプリ開発	探索的試験	検証的試験	現状
治療	SMD105 （乳がん切除後疼痛症候群）				探索的試験実施中
治療	SMD106 （月経前症候群・月経前不快気分障害）				次試験に向けて準備中
治療	SMD107 （持続性知覚性姿勢誘発めまい）				次試験に向けて準備中
診断	SMD103 （妊産婦うつ）				アプリ開発中 論文公開
診断	SMD104 （ADHD：視線解析）				アプリ開発中 AMED事業に採択

© SUSMED, Inc All rights reserved.

SUSMED SourceDataSync®：臨床試験システム

SUSMED
Sustainable Medicine

■ブロックチェーン技術の実装により、データの真正性の担保と臨床試験のモニタリングに関する工数と費用を大幅に削減
■リモートでの臨床試験実施も可能とし、多額の開発コストに起因するドラッグ・ラグ、ドラッグ・ロスの解消を目指す

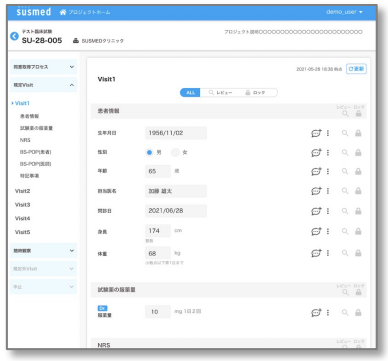


*CRO：医薬品開発業務受託機関

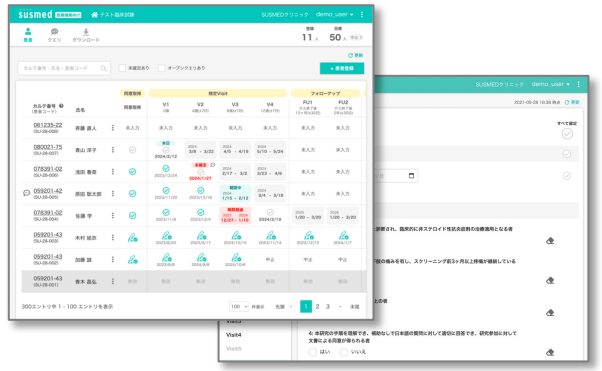
SUSMED SDS：ePRO・eCRF・eWSを一元的に提供



ePRO: 患者のデータを取得するシステム



eCRF: 電子化された症例報告書



eWS: 電子化された記録用紙

© SUSMED, Inc All rights reserved.

2027年6月期　重点施策

SUSMED
Sustainable Medicine

1 不眠障害治療用アプリの販売推進

2 パイプラインの開発進捗

・SMD105：次試験の開始
・SMD403：検証的試験の完了
・SMD106：検証的試験の開始
・SMD107：次試験の開始

3 臨床試験システムの稼働実績積み上げ

© SUSMED, Inc All rights reserved.

重点施策① 不眠障害治療用アプリの販売促進

SUSMED
Sustainable Medicine

- 当社単独での供給体制のもと、営業・プロモーション活動を本格的に展開
- イベント出展や学会等での講演、オンラインセミナーの開催に加え、併せてメディア対応および疾患啓発を実施
- 当社単独での活動を強化しながら、外部企業との協業についても積極的に検討中

当社単独での主な取り組み


イベント出展


学会等での講演


オンラインセミナー


メディア対応


疾患啓発

プロモーションから導入までを自社で完結し、安定供給が可能な体制を確立

×

外部企業との取り組み

複数の外部パートナーとのプロモーション協業を積極的に検討中

© SUSMED, Inc All rights reserved.

重点施策① 不眠障害治療用アプリの販売促進（イベント出展）

SUSMED
Sustainable Medicine

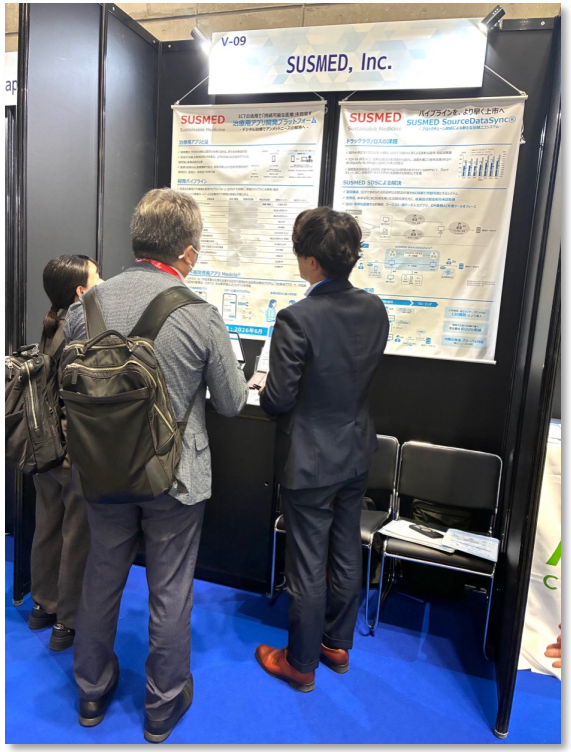
■学会での講演やブース出展を通じ、医療関係者へ不眠障害治療用アプリの詳細な情報を提供

主な参加イベント

- 臨床試験学会
- 第44回日本社会精神医学会
- 再生医療学会
- 第9回日本うつ病リワーク協会年次大会
- 第18回日本不安症学会学術大会
- 第30回日本医療情報学会春季学術大会
- 第122回日本精神神経学会学術総会
- 日本外来精神医学会
- 第14回DIA クリニカルオペレーション・モニタリング ワークショップ
- 第67回全日本病院学会
- 日本認知療法・認知行動療法学会
- 霧島睡眠研究会
- ジャパンヘルスケアベンチャーサミット（JHVS）2026
- 第39回日本臨床内科医学会
- 第36回日本産業衛生学会全国協議会



学会での展示ブース



JHVS2026の企業ブースの様子

© SUSMED, Inc All rights reserved.

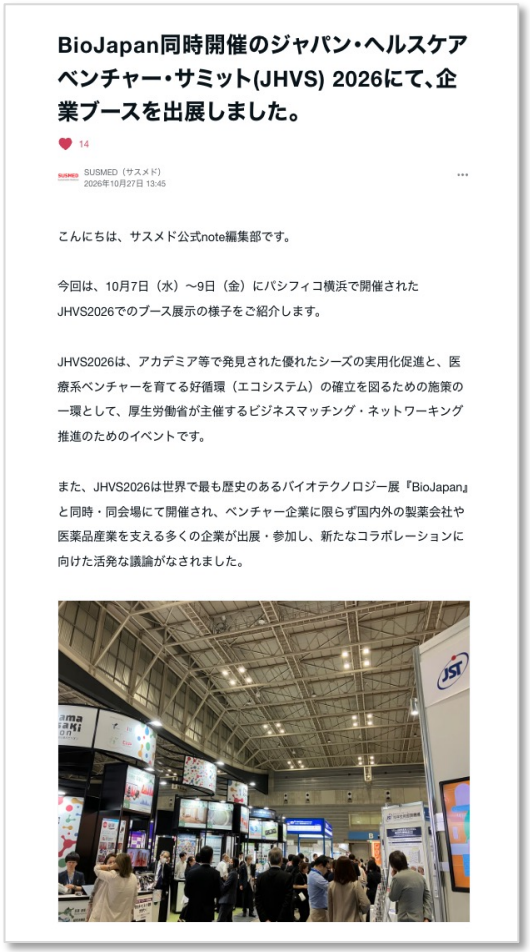
重点施策① 不眠障害治療用アプリの販売促進（イベント出展）

■当社が参加したイベント出展に関する様子を、当社の企業活動の紹介として公式noteアカウントでも発信

公式noteアカウントでの情報発信



https://note.com/susmed



BioJapan同時開催のジャパン・ヘルスケアベンチャー・サミット(JHVS) 2026にて、企業ブースを出展しました。

14

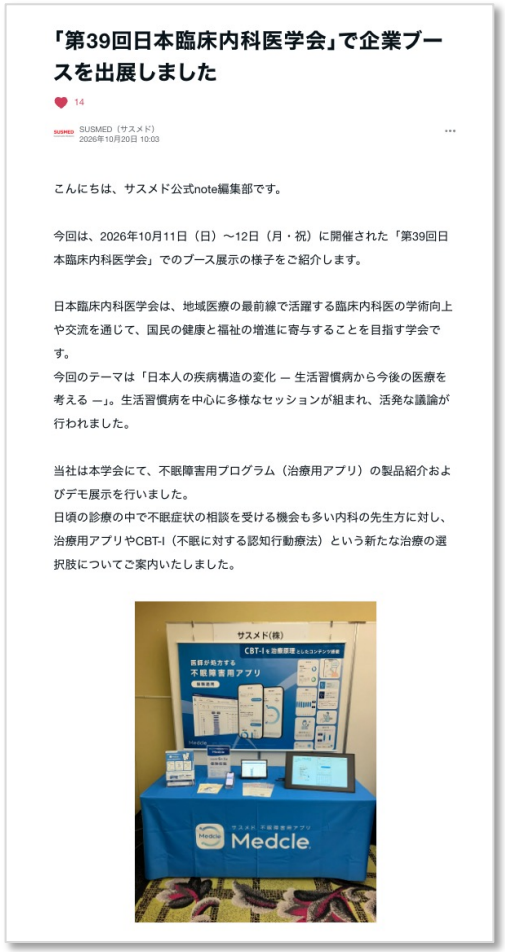
SUSMED（サスメド）
2026年10月27日 13:45

こんにちは、サスメド公式note編集部です。

今回は、10月7日（水）～9日（金）にパシフィコ横浜で開催されたJHVS2026でのブース展示の様子をご紹介します。

JHVS2026は、アカデミア等で発見された優れたシーズの実用化促進と、医療系ベンチャーを育てる好循環（エコシステム）の確立を図るための施策の一環として、厚生労働省が主催するビジネスマッチング・ネットワーキング推進のためのイベントです。

また、JHVS2026は世界で最も歴史のあるバイオテクノロジー展『BioJapan』と同時・同会場にて開催され、ベンチャー企業に限らず国内外の製薬会社や医薬品産業を支える多くの企業が出展・参加し、新たなコラボレーションに向けた活発な議論がなされました。



「第39回日本臨床内科医学会」で企業ブースを出展しました

14

SUSMED（サスメド）
2026年10月20日 10:03

こんにちは、サスメド公式note編集部です。

今回は、2026年10月11日（日）～12日（月・祝）に開催された「第39回日本臨床内科医学会」でのブース展示の様子をご紹介します。

日本臨床内科医学会は、地域医療の最前線で活躍する臨床内科医の学術向上や交流を通じて、国民の健康と福祉の増進に寄与することを目指す学会です。
今回のテーマは「日本人の疾病構造の変化 ― 生活習慣病から今後の医療を考える ―」。生活習慣病を中心に多様なセッションが組まれ、活発な議論が行われました。

当社は本学会にて、不眠障害用プログラム（治療用アプリ）の製品紹介およびデモ展示を行いました。
日頃の診療の中で不眠症状の相談を受ける機会も多い内科の先生方に対し、治療用アプリやCBT-I（不眠に対する認知行動療法）という新たな治療の選択肢についてご案内いたしました。

© SUSMED, Inc All rights reserved.

重点施策① 不眠障害治療用アプリの販売促進（学会等での講演）

SUSMED
Sustainable Medicine

■アプリの普及活動として、学会等での講演を実施

- 日本睡眠学会第50回定期学術集会合同大会ランチョンセミナー3
  座長：千葉 伸太郎 先生（医療法人愛仁会 太田総合病院記念研究所附属診療所 睡眠科学センター）
  演者：高江洲 義和 先生（琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座）

- BCNP2026 合同学会
  座長：髙橋 英彦 先生（東京科学大学大学院医歯学総合研究科 精神行動医科学 主任教授）
  演者：加藤 忠史 先生（順天堂大学医学部精神医学講座 主任教授）





© SUSMED, Inc All rights reserved.

重点施策① 不眠障害治療用アプリの販売促進（オンラインセミナー）

SUSMED
Sustainable Medicine

■医療関係者向けに、アプリの説明会や医師を招いたオンラインセミナーを開催

- サスメド 不眠障害 Webカンファレンス
  演者：小曽根 基裕 先生（久留米大学 神経精神医学講座 教授）

- 不眠障害用アプリMedcle（メドクル）製品説明会
  演者：当社社員

- サスメド 不眠障害 Webカンファレンス
  演者：伊東 若子 先生（眠りのクリニック神楽坂　院長、
  順天堂大学医学部精神医学講座　客員准教授）

～今後の予定～

- 競合の一歩先へ！「睡眠障害」標榜化をフックにする自院の
  増患戦略と治療用アプリを活用した最新アプローチ
  （株式会社メドレー主催セミナー）
  演者：上野 太郎（サスメド株式会社 代表取締役社長）

- 人的資本経営の新たなストラテジー ～データヘルスから紐解く、
  職場の睡眠課題と解決へのアプローチ～
  講師：古井 祐司 先生（東京大学未来ビジョン研究センター 特任教授、
  自治医科大学 客員教授）
  上野 太郎（サスメド株式会社 代表取締役社長）

- 不眠症診療の新たな治療戦略
  講師：加藤 忠史 先生（順天堂大学医学部精神医学講座 主任教授）





© SUSMED, Inc All rights reserved.

重点施策① 不眠障害治療用アプリの販売促進（メディア対応）

SUSMED
Sustainable Medicine

■不眠障害治療用アプリの上市以降、認知度および採用医療機関数の拡大に向けて多数のメディア取材に対応

- 日経新聞：『不眠、薬物使わぬ治療に保険』
- 日経新聞：『不眠症治療、広がる保険適用の選択肢　認知行動療法やアプリ』
- NHK：『NHK NEWS おはよう日本』
- 日経メディカル：『「不眠症のアプリ治療」は実臨床に根付くか、現場の疑問に開発者らが回答』
- 日経メディカル：『サスメド上野社長「塩野義との独占的販売契約終了をむしろ好機と捉える」』
- 読売新聞：『［医療ルネサンス］睡眠薬の減薬・休薬＜５＞「デジタル式」アプリ活用』
- WIRED：『睡眠薬よりも先に、治療アプリという選択肢を提供する』
- 日経メディカル：『塩野義製薬との販売提携解消後も自社体制で不眠症治療アプリ「Medcle」の普及目指す』

© SUSMED, Inc All rights reserved.

重点施策① 不眠障害治療用アプリの販売促進（疾患啓発）

SUSMED
Sustainable Medicine

■医療機関に対し、疾患啓発に関する冊子とポスターを提供

不眠症治療の説明冊子



院内掲示用の疾患啓発ポスター



© SUSMED, Inc All rights reserved.

重点施策① 不眠障害治療用アプリの販売促進（疾患啓発）

SUSMED
Sustainable Medicine

■不眠症治療の適切な理解促進に向け、不眠症疾患啓発サイト「眠りの道しるべ」を開設



https://sleep.susmed.co.jp/



© SUSMED, Inc All rights reserved.

— その他

■SUSMED SDSを活用して治験が実施された医薬品が製造販売承認を取得

ヒスタミンH3受容体拮抗薬／逆作動薬Pitolisantの国内第3相臨床試験

ACULYS

SUSMED
Sustainable Medicine

＜ブロックチェーン技術の活用による製造販売承認の取得＞

- ブロックチェーン技術を活用した企業治験の結果に基づく医薬品の製造販売承認の取得は世界初
- 内閣府や経済産業省から当事例を評価するコメントを受領
  https://www.susmed.co.jp/news/post/13714/

© SUSMED, Inc All rights reserved.

2027年6月期　重点施策

SUSMED
Sustainable Medicine

1 不眠障害治療用アプリの販売推進

アプリの認知拡大に向けたブース出展やオンラインセミナーの開催に加え、メディア対応や疾患啓発を積極的に推進

2 パイプラインの開発進捗

- SMD105：次試験の開始
- SMD4SMD403の検証的試験は計画通りに進捗中
- SMD1SMD106およびSMD107は次試験に向けて準備中
- SMD107：次試験の開始

3 臨床試験システムの稼働実績積み上げ

初の承認申請取得の実績をもとに積極的に提案活動を展開

© SUSMED, Inc All rights reserved.

業績ハイライト

SUSMED
Sustainable Medicine

- 事業収益はマイルストン収益を計上し、227百万円で着地
- 人件費や研究開発費、本社移転費用、プロモーション費用等の影響により、営業損失は61百万円を計上
- 採用医療機関数・月間処方数拡大に向けて営業およびプロモーション活動を強化しながら、外部パートナーとの協業も検討中
- クリニックに加え大学病院での採用が拡大し、将来的な月間処方数の加速に向けた施策が着実に進捗

	（参考）2026年6月期実績	2027年6月期 第1四半期累計	2027年6月期 通期予算	達成率
事業収益	497百万円	227百万円	838百万円	27.2%
営業利益	△330百万円	△61百万円	△461百万円	--%
Medcle 採用医療機関数 （2026年10月末時点）	--軒	194軒	1,000軒	19.4%
Medcle 月間処方数 （2026年10月末時点）	--回/月	27回/月	2,000回/月	1.4%
開発パイプライン件数 （2026年11月6日現在）	11件	11件	11件	--%
契約案件数	15件	11件	17件	--%
研究開発費	247百万円	73百万円	435百万円	16.8%

© SUSMED, Inc All rights reserved.

セグメント業績

SUSMED
Sustainable Medicine

- DTxプロダクト事業では、Medcleの保険収載に伴うマイルストン収益として2億円を計上
- DTxプラットフォーム事業は、一部案件のシステム利用期間終了に伴う収益減少と研究開発費の増加により16百万円の損失で着地

	（参考）2026年6月期	2027年6月期 第1四半期累計
DTxプロダクト事業		
事業収益	340百万円	200百万円
セグメント利益	103百万円	128百万円
DTxプラットフォーム事業		
事業収益	156百万円	26百万円
セグメント利益	76百万円	△16百万円

© SUSMED, Inc All rights reserved.

SUSMED
Sustainable Medicine

Appendix

© SUSMED, Inc All rights reserved.

QDTx®：治療用アプリ開発プラットフォーム

SUSMED
Sustainable Medicine

- 治療用アプリの開発経験から、新規アプリのPoC*取得を迅速に実施可能なプラットフォームを構築（特許技術実装）
- 医療機関用システムと患者用アプリを設定ファイルでカスタマイズするだけで臨床試験が実施可能
- スクラッチで開発する必要がなく、開発リソースを節約しながら複数パイプラインを並列で推進できる

*PoC: Proof of Concept





© SUSMED, Inc All rights reserved.

Awesome Intelligence®：機械学習自動分析システム

SUSMED
Sustainable Medicine

■機械学習の予測モデルを自動で構築できるクラウドサービスを構築し、臨床試験データの解析などに活用
■ファイルアップロード → 予測したい変数を選択 → 分析実行の操作のみで、自動で予測モデル構築とレポートが出力

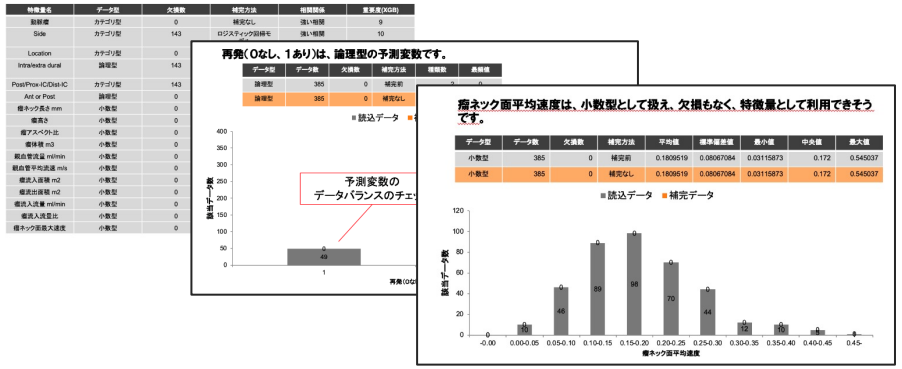
Awesome Intelligence®

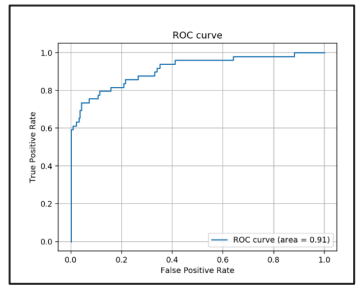
1.データをツールに投入（csvファイル）

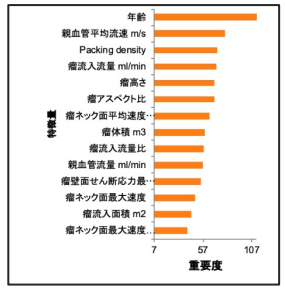


1. ファイルをアップロード
2. 列名から予測変数を選択
3. 分析実行

2.アウトプットがPPT形式で自動で出力





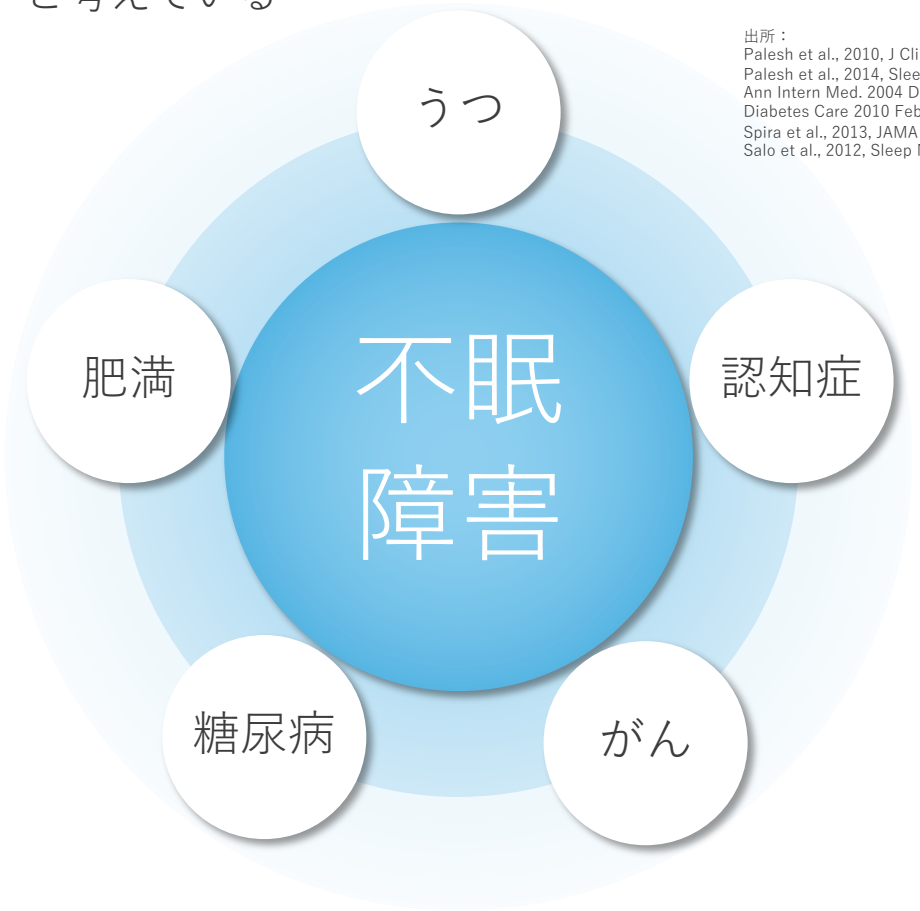


© SUSMED, Inc All rights reserved.

不眠障害領域での課題

SUSMED
Sustainable Medicine

■複数の疾患のリスク要因である不眠障害に対して、睡眠薬の投与による治療が日本国内では支配的であると理解
■睡眠薬による治療は問題が多く、減薬や処方期間の短縮が打ち出されているところ、近年は認知行動療法が注目されていると考えている



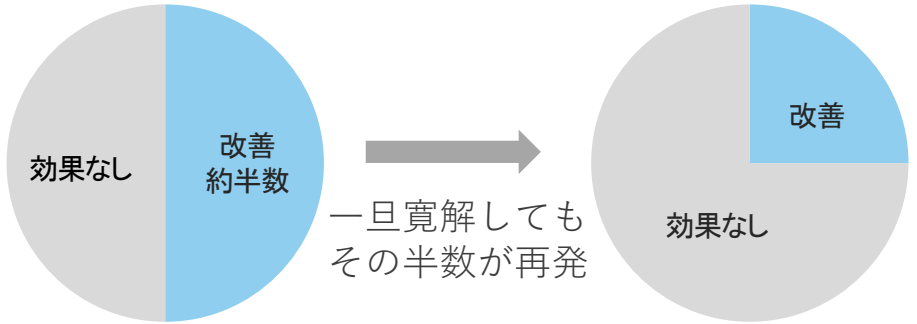
出所：
Palesh et al., 2010, J Clin Oncol
Palesh et al., 2014, Sleep
Ann Intern Med. 2004 Dec 7;141(11):846-50.
Diabetes Care 2010 Feb; 33(2): 414-420.
Spira et al., 2013, JAMA Neurol
Salo et al., 2012, Sleep Medicine

不眠障害は複数疾患のリスク要因



睡眠薬

効能



出所： 睡眠薬の適正な使用と休薬のための診療ガイドライン（厚生労働科学研究・障害者対策総合研究事業）

副作用

- 依存性
- 処方への抵抗感



CBT-I*

アクセス

- アメリカでは治療の第一選択
- 日本国内ではCBT-Iを実施できるスタッフが不足

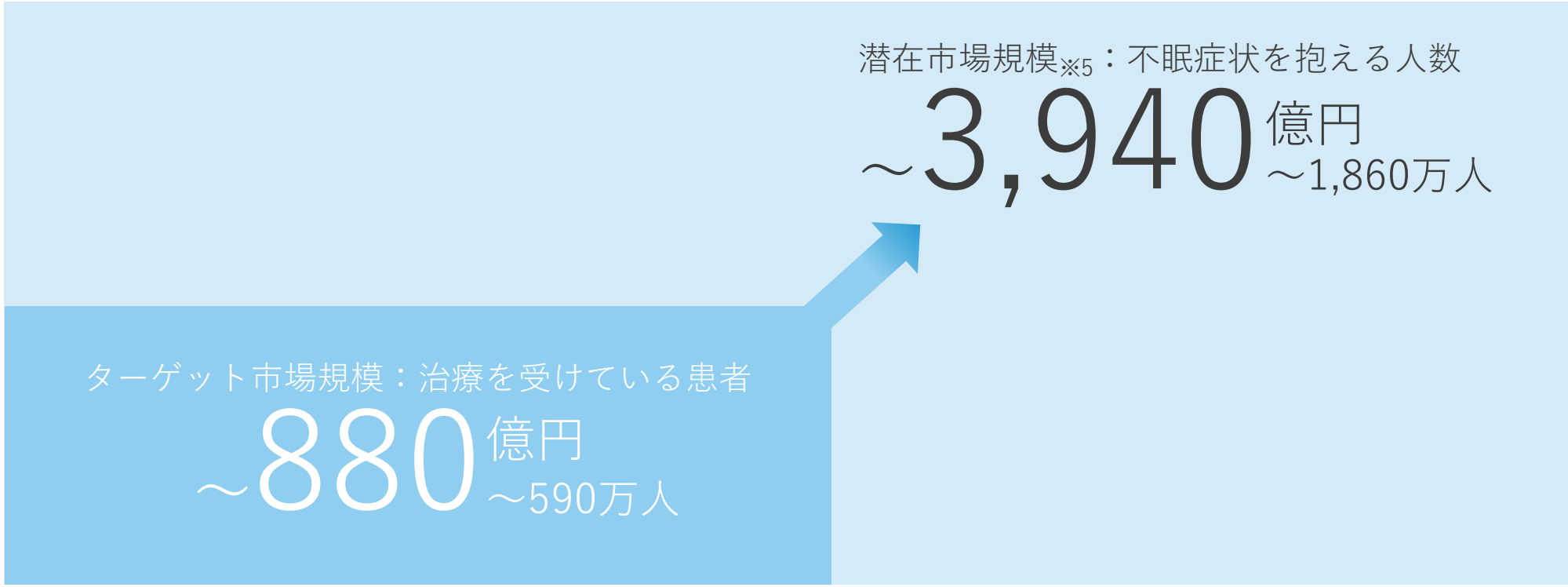
*CBT-I: 睡眠障害を対象とした認知行動療法（Cognitive Behavioral Therapy for Insomnia）

© SUSMED, Inc All rights reserved.

不眠障害治療用アプリの国内市場規模（推計）

SUSMED
Sustainable Medicine

■ターゲット市場は880億円、潜在患者まで含めると3,940億円の規模を見込む



	患者数※1、※2	×	保険償還価格	×	単剤率※3	×	軽度～中等度患者比率※4
潜在市場	1,860万人		24,100円		-		100%
ターゲット市場	590万人				72.7%		85%

※1：日本の人口約1.25億人×日中の過度な眠気に悩んでいる人の割合14.9%=1,860万人（Liu X et al. Psychiatry Research, 93･1, 1-11 (2000)）
※2：日本の人口約1.25億人×治療層4.7% ≒590万人（「不眠に関する意識と実態調査」MSD製薬　2014年）
※3：20～74歳の一般人口における向精神薬が 3ヶ月間に処方された人数のうち、1種類の睡眠薬を処方された人数の割合（出所：睡眠薬厚生労働省「抗不安薬・睡眠薬の処方実態についての報告」）
※4：2025年のアテネ不眠尺度の質問を基に調査した結果（N=10,000)で、不眠症の可能性がある人の割合（48.1%)に占める軽度もしくは中等度不眠症の可能性がある人の割合（40.9%)（出所：西川株式会社「nishikawa睡眠白書 2025」）。 未治療の患者（1,270万人）については、重症患者は既に治療を受けていると仮定し、患者比率（軽度～中等度）は100%とする
※5：不眠症を抱えているが未治療の患者数1,270万人（1,860万人-590万人）に保険償還価格を乗じ、ターゲット市場規模を加算して算出（1,270万人×24,100円＋880億円≒3,940億円）
注： 市場規模（推計）は当社アプリがターゲットとする市場全体の規模を表しており、医療機関や販売提携先に帰属する収益等も含まれています。

© SUSMED, Inc All rights reserved.

不眠障害治療用アプリのSAM（Serviceable Available Market）

SUSMED
Sustainable Medicine

■既存の睡眠薬治療からの切替ニーズと、不眠症自覚症状があるが睡眠薬治療に抵抗がある未治療患者の掘り起こしを狙う
■当社実施の387名の医師を対象としたアンケートより、SAMは420億円超と試算される

既存治療患者からの切替

150億円
（当社試算）

＋

未治療患者の掘り起こし

270億円
（当社試算）

＝

SAM

420億円～
（当社試算）

既存不眠障害治療患者数※1	患者比率（軽度～中等度）	単剤率	推定処方率※2（当社試算）	保険償還価格※3
590万人	× 85%	× 72.7%	× 17%	× 24,100円

潜在患者※4	患者比率（軽度～中等度）	推定処方率※5（当社試算）	保険償還価格※3
470万人	× 100%	× 24%	× 24,100円

（参考）既存不眠症治療薬の2025年売上高（億円）※6

デエビゴ	592
ベルソムラ	218
マイスリー	25

※1：日本の人口約1.25億人×治療層4.7% ≒590万人（「不眠に関する意識と実態調査」MSD製薬　2014年）
※2：当社実施の医師アンケート（N=387）より、CBT-Iアプリを支持している医師の割合×CBT-Iアプリの想定処方割合×年代層別のスマートフォン保有率（出所：インテージ「マルチデバイス調査」） に不眠症治療薬を服用している人のうち現在の治療薬に対して不満がある人の割合71% （「不眠に関する意識と実態調査」MSD製薬　2014年）を乗じて試算
※3：不眠症治療用アプリの償還価格
※4：不眠症状を抱えており未治療1,270万人（1,860万人-590万人）に、不眠症疑いあり層のうち「自分は不眠症だと思う」（35.2%）もしくは「どちらともいえない」（21.9%）の合計57.1%を乗じ、さらに不眠症疑いあり層で不眠症治療薬を飲むことは怖いと感じている割合64.4%を乗じて試算（「不眠に関する意識と実態調査」MSD製薬　2014年）
※5：当社実施の医師アンケート（N=387）より、CBT-Iアプリを支持している医師の割合 ×CBT-Iアプリの想定処方割合 ×スマートフォン保有率（出所：インテージ「マルチデバイス調査」）より試算
※6：薬事ハンドブック2026、薬価ベース

© SUSMED, Inc All rights reserved.

不眠障害治療用アプリの海外での動向

SUSMED
Sustainable Medicine

■英国国立医療技術評価機構（NICE）が、不眠症治療において睡眠薬の代わりに治療用アプリを推奨

NICE National Institute for Health and Care Excellence

Search NICE...

Sign in

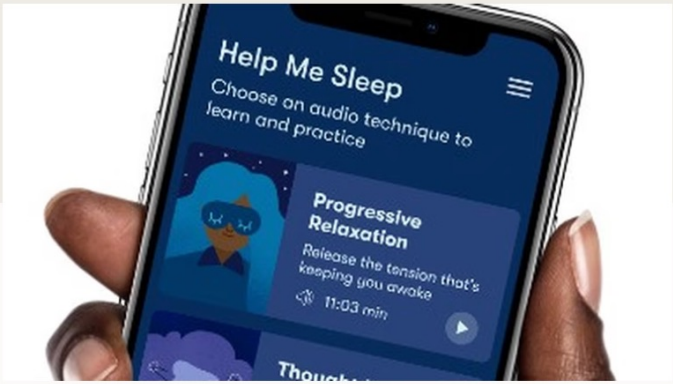
Guidance | Standards and indicators | Clinical Knowledge Summaries (CKS) | British National Formulary (BNF) | British National Formulary for Children (BNFC) | Life sciences | More from NICE

Home > News > News articles

App-based treatment for people with insomnia an effective alternative to sleeping pills

Hundreds of thousands of people suffering from insomnia who would usually be prescribed sleeping pills could be offered an app-based treatment programme instead.

News 20 May 2022



Associated guidance and resources

Guidance on Sleepio to treat insomnia and insomnia symptoms

NICE has recommended Sleepio as an effective alternative to sleeping pills, which would save the NHS money as well as reducing prescriptions of medicines such as zolpidem and zopiclone that can be dependency forming. Economic analysis found that healthcare costs were lower at one year when using Sleepio, mostly because of fewer GP appointments and sleeping pills prescribed.

https://www.nice.org.uk/news/articles/App-based-treatment-for-people-with-insomnia-an-effective-alternative-to-sleeping-pills

© SUSMED, Inc All rights reserved.

不眠障害治療用アプリの海外での動向

SUSMED
Sustainable Medicine

■ ヨーロッパ睡眠学会が不眠障害治療のガイドラインを改定し、「成人に対する慢性的な不眠障害の治療においては、対面、デジタルのいずれかに関わらず認知行動療法が第一選択として推奨される」とした論文を発表

”Cognitive-behavioural therapy for insomnia is recommended as the first-line treatment for chronic insomnia in adults of any age (including patients with comorbidities), either applied in-person or digitally”
”When cognitive-behavioural therapy for insomnia is not sufficiently effective, a pharmacological intervention can be offered.”



REVIEW ARTICLE | Open Access

The European Insomnia Guideline: An update on the diagnosis and treatment of insomnia 2023

Dieter Riemann, Colin A. Espie, Ellemarije Altena, Erna Sif Arnardottir, Chiara Baglioni, Claudio L. A. Bassetti, Celyne Bastien, Natalija Berzina, Bjørn Bjorvatn ... See all authors

First published: 28 November 2023 | https://doi.org/10.1111/jsr.14035 | Citations: 1

https://doi.org/10.1111/jsr.14035

© SUSMED, Inc All rights reserved.

主なパイプラインの国内市場規模（推計）

SUSMED
Sustainable Medicine

	乳がん患者運動療法	ACP : Advance Care Planning	腎臓リハビリ
市場規模	**72億円**	**309億円**	**660億円**
保険償還点数	▶ 615点/回 – 1時間運動療法を行った場合 – 1単位：205点/20分 – H007-2 がん患者リハビリテーション料を参照	▶ 3,000台湾ドル/時間 （13,500円: 1TWD=4.5JPY） – 日本ではACPの保険償還点数が決まっていないため、台湾の事例を参照*	▶ 555点/回 – 1時間運動療法を行った場合 – 1単位：185点/20分 – H002 運動器リハビリテーション料（I）を参照
回数	▶ 3回/週（※1）	▶ 6ヶ月間：1時間/回/月（※2）	▶ 8回/月（※3） – 2回/週
対象人数	▶ 97,812人** – 2019年の乳がん罹患者数	▶ 381,505人** – 2021年のがんによる死亡者数	▶ 149万人*** – 20歳以上の慢性腎臓病G3b-G4ステージの患者数

*　: “Taiwanese put off by costly advance care planning services: Experts”, Mar. 6, 2023（記載されているレンジNT$2000-NT$4000の中間値を使用）
**. : https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/summary.html#a25
*** : CKD診療ガイド2012
※1: 臨床試験における治療プログラムを参照（https://tokuteikenshin-hokensidou.jp/news/2019/007960.php）　※2:当社推計　※3:腎臓リハビリテーションガイドラインを参照
注：　市場規模（推計）は当社アプリがターゲットとする市場全体の規模を表しており、医療機関や販売提携先に帰属する収益等も含まれています。

© SUSMED, Inc All rights reserved.

会社概要

会社概要

会社名	サスメド株式会社
代表者	代表取締役社長　上野太郎
設立年月	2016年2月 （2015年7月に合同会社として創業）
本社	東京都中央区日本橋本町一丁目9番3号
従業員数	51名（2026年11月時点）
事業内容	「DTx開発」「医薬品開発の効率化を推進するSUSMED SourceDataSync®の提供」を展開
主要株主	経営陣 日本カストディ銀行 ヘルシア スズケン 第一生命保険　　等

At a glance（2026年11月現在）

2026年6月より
不眠障害用アプリ「Medcle」の販売を開始

特許取得数

34件

海外特許・共同出願含む

DTx開発パイプライン数

11件

プロジェクト採択数（累計）

21件

AMED* / 厚生労働省 / NEDO** / 文部科学省 / 内閣府/ JST***

共同研究数（累計）

24社・機関

*AMED: 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
**NEDO: 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
***JST: 国立研究開発法人科学技術振興機構

© SUSMED, Inc All rights reserved.

経営陣略歴



代表取締役社長　上野 太郎

医師、医学博士

睡眠医療・神経科学分野を中心とした科学業績を多数有し、臨床医として専門外来診療も継続。国立がん研究センター等との共同研究を主導。日本睡眠学会の評議員も務める

東北大学医学部卒（H18年）

受賞歴：井上研究奨励賞、武田科学振興財団医学系研究奨励、内藤記念科学奨励金・研究助成、肥後医育振興会医学研究奨励賞等

経済産業省ヘルスケアIT研究会専門委員



取締役（管理）　小原 隆幸

船井総合研究所に入社し、プライベートエクイティファンドのビジネスDD業務に従事。その後、大和PIパートナーズ、大和企業投資において、国内外の投資業務に携わる。その後、コスメネクスト社において、経営管理／経営企画の担当役員として、管理体制の整備、旗艦店（@cosme TOKYO）の開発を手掛け、2020年より現職

MBA (London Business School)、USCPA (Inactive)



取締役CTO（システム開発）　本橋 智光

SIerの研究員、Web系企業の分析者を経て現職

基盤・スマホアプリ・フロント・サーバ・機械学習・数理最適化等幅広くこなす

個人として量子アニーリングコンピュータの応用研究にも従事しIPA 未踏ターゲットにも関わる

受賞歴：システム制御情報学会奨励賞、KDD Cup2015 2nd

著書に「前処理大全」（技術評論社）、「機械学習のための特徴量エンジニアリング」（O'Reilly Japan）など。日本情報システムユーザー協会や日経セミナーなどで講演多数

© SUSMED, Inc All rights reserved.

免責事項

本資料には、当社の現在の見通し、予想、目標、計画などを含む将来に関する記述が含まれています。これらの記述について、当社は、将来に関する見通しであることを示すために、全てではありませんが、多くの場合、「予想」、「目標」、「想定」、「期待」、「意図」、「計画」、「見込み」等の語句およびこれと同様の意味を有する語句を用いています。将来に関する見通しは、本資料の作成時点における入手可能な業界、市場動向または経済情勢等の情報に基づき一定の前提・仮定のもとに作成されたもので、既知または未知のリスク、不確実性が内在しており、今後発生する事象に基づき影響を受ける可能性があります。影響を与える要因としては、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった国内外の経済情勢、当社の関連する業界における事業環境の変化および関係法規制の改正、開発計画・製品化の遅延や今後の販売活動において期待した効果が得られない可能性、第三者による知的財産の侵害等が含まれますが、これらに限られるものではありません。そのため、当社の実際の業績は将来に関する見通しに記載されまたは示唆されるものとは大幅に異なる可能性があります。当社は、これらの将来に関する見通しに記載される予想が正確なものであることを保証するものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行なっておらず、またこれを保証するものではありません。

当社は、本資料の日付以降において、本資料に記載された内容を随時更新する義務を負うものではなく、かかる方針も有しておりません。また、これらの情報は、今後予告なく変更されることがあります。従いまして、本資料及び本資料に記載の情報の利用については、他の方法により入手した情報とも照合確認し、利用者のご判断によって行なってくださいますようお願い致します。

本資料は当社事業への理解を深めていただくために作成したものであり、医薬品及び医療機器（開発中の製品を含む）に関する宣伝広告、医学的アドバイスを目的とはしておらず、また、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券の勧誘を構成するものではありません。

本資料の利用は、利用者の責任によるものとし、本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

© SUSMED, Inc All rights reserved.